

# 平成26年度 清瀬市立清瀬中学校 学校評価計画表

## 学校教育目標

人間尊重を基本理念に国際的視野にたち、平和を愛する社会人の形成をめざして、  
 ・正しい判断力と粘りづよい実践力をもった生徒を育てる ・健やかな身体と豊かな情操をもった生徒を育てる ・高い知性とたくましい創造力をもった生徒を育てる。

## 目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 伝統を受け継ぎ、安全で地域・保護者から信頼を寄せられる学校
- 【目指す生徒像】 自らよく学び、よく考え、互いに支え合い認め合える豊かな心と強い意志をもち、国際的視野に立てる生徒
- 【目指す教師像】 生徒のよさや可能性を引き出し、教職員が互いに磨き合い、協力し合える組織をつくり、公務員としての自覚有る行動のとれる教職員

**前年度までの学校経営上の成果と課題** 学力の向上と命の教育に特に重点を置いて学校運営を行った。本校は平成25年度より2年間の学力向上推進モデル校に指定され、その初年度として具体的な向上への取り組みを行った。その成果を、平成26年秋に数値で把握し、27年2月に発表する予定である。命の教育については、赤ちゃんのチカラプロジェクトや、メンタルヘルスリテラシー、本校独自の取り組み等で十分に行うことができた。また、生徒が自ら考えて行動できる、判断力の育成を図った生活指導を実践している。課題としては、不登校生徒を減らすことや、特別支援学級と通常学級との交流学習を質量ともに向上させること、ホームページの充実によって、学校理解をさらに進めることが挙げられる。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)	成果目標(評価基準)
確かな学力の向上	国語・社会・数学・理科・英語の5教科の、学力を向上させる。	小中連携した学力向上研究推進校として、研究の成果を上げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎授業で復習テストを実施する。</li> <li>・授業規律を確立するための授業運営ルールを1学期に規定し、全教員に徹底させる。</li> <li>・小中相互の授業参観を行う。</li> </ul>	4 教職員の取り組み評価で、肯定的回答80%以上	4 学力調査で都平均を5教科で上回る
				3 教職員の取り組み評価で、肯定的回答60%以上80%未満	3 学力調査で都平均を4教科で上回る
		全教科(通常学級・特別支援学級ともに)で指導方法の工夫改善をより一層推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務主任を中心に進め、改善計画を全教科で作成する。</li> <li>・授業公開日に取り組み状況を公開する。</li> </ul>	2 教職員の取り組み評価で、肯定的回答40%以上60%未満	2 学力調査で都平均を3教科で上回る
				1 教職員の取り組み評価で、肯定的回答40%未満	1 学力調査で都平均を2教科で上回る
豊かな心の育成	生命を尊重する精神をもち、いじめや暴力行為がなく思いやりのある生徒を育成する。	命を大切にす生徒、いじめをしない、させない生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命の教育を全学年で行う。</li> <li>・ふれあいアンケートの毎学期実施。</li> <li>・休み時間には学年担当教員が学年フロアに待機し、生徒に寄り添う。</li> <li>・不登校生徒への家庭訪問を行う。</li> </ul>	4 問題行動調査で1年間のいじめ・暴力件数が10件未満	4 生徒の評価で肯定的回答80%以上
				3 問題行動調査で1年間のいじめ・暴力件数が10件～15件	3 生徒の評価で肯定的回答60%以上80%未満
	生徒の自尊感情と自己肯定感を高める教育活動を推進する。	互いに認め合う生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全生徒が部活動、資格取得試験、各種コンクール等において、3年間で1度は表彰を受けられる指導を行う。</li> <li>・委員会活動、学校行事等の特別活動は生徒主体で企画運営を行う。</li> </ul>	2 問題行動調査で1年間のいじめ・暴力件数が16件～20件	2 生徒の評価で肯定的回答40%以上60%未満
				1 問題行動調査で1年間のいじめ・暴力件数が21件以上	1 生徒の評価で肯定的回答40%未満
健やかな体の育成	体力の向上を図る。	運動量を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業開始前からランニングを行う。</li> <li>・説明を効率的に行うことによって運動の時間をより多く確保する。</li> </ul>	4 教職員の取り組み評価で、肯定的回答80%以上	4 生徒の評価で肯定的回答80%以上
				3 教職員の取り組み評価で、肯定的回答60%以上80%未満	3 生徒の評価で肯定的回答60%以上80%未満
	食育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の残菜量を減らすため、教員による配膳の工夫や生徒による完食推進キャンペーンを行う。</li> </ul>	2 教職員の取り組み評価で、肯定的回答40%以上60%未満	2 生徒の評価で肯定的回答40%以上60%未満	
			1 教職員の取り組み評価で、肯定的回答40%未満	1 生徒の評価で肯定的回答40%未満	
本校の特色①	国際理解教育を推進し、国際的視野を持つ生徒を育成する清瀬中学校。	3年間を見通した意図的計画的な国際理解教育を実践し、生徒に国際社会への興味・関心を抱かせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次にUNICEF理解教育を実施。</li> <li>・2年次に『留学生が先生』プロジェクトを利用した交流授業を実施する。</li> <li>・3年次に、清瀬市内に在住する外国籍の方々との交流授業を実施する。</li> </ul>	4 教職員の取り組み評価で、肯定的回答80%以上	4 生徒の満足度Aが80%以上
				3 教職員の取り組み評価で、肯定的回答60%以上80%未満	3 生徒の満足度Aが70～79%
	特別支援教育を充実させ、インクルーシブ教育を推進する清瀬中学校。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制を確立する。</li> <li>・通常学級生徒と特別支援学級生徒との交流によって、相互理解及び相互のより良い成長を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導計画を作成し、生徒個々に対する指導の充実を図る。</li> <li>・特別支援学級と通常学級との行事交流、部活動交流、給食交流を行う。</li> </ul>	2 教職員の取り組み評価で、肯定的回答40%以上60%未満	2 生徒の満足度Aが60～69%
				1 教職員の取り組み評価で、肯定的回答40%未満	1 生徒の満足度Aが50～59%
本校の特色②	キャリア教育を一層推進する清瀬中学校。	3年間を見通し、生徒の発達段階に応じたキャリア教育を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間で計画的に職場訪問、職場体験、上級学校調べ、進路講演を行う。</li> <li>・調べ学習、発表活動等を通してリテラシーや言語能力を育てつつ、自ら進んで進路学習に取り組む指導を進める。</li> </ul>	4 全学年で、地域の人材を活用	4 在宅進路未決定者0
				3 3分の2以上の学年で、地域の人材を活用	3 在宅進路未決定者1名
	保護者・地域との広く深い連携による、地域に根ざし地域と共に歩む清瀬中学校。	生徒・教師・保護者・地域社会との交流活動の充実を図る。保護者・地域に積極的に情報を発信し、理解・協力態勢を強め、地域からの信頼をさらに醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの積極的な更新。</li> <li>・学校便りの地域への配布。</li> <li>・学校行事や授業公開等の事前案内。</li> <li>・健全育成体験主張発表会や石田波郷俳句大会等へ積極的な作品応募。</li> </ul>	2 1つの学年で交流学習を実施	2 在宅進路未決定者2名
				1 交流学習が未実施	1 在宅進路未決定者3名以上
				4 学校便り増刊号発行、HP更新合計20回以上	4 公開講座等への地域保護者の参加数1回平均50名以上
				3 学校便り増刊号発行、HP更新合計15～19回	3 公開講座等への地域保護者の参加数1回平均40名以上
				2 学校便り増刊号発行、HP更新合計10～14回	2 公開講座等への地域保護者の参加数1回平均21名以上
				1 学校便り増刊号発行、HP更新合計9回未満	1 公開講座等への地域保護者の参加数1回平均20名以下